

令和6年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立酒田光陵高等学校

学校教育目標	1 進取の気性を持ち、知徳体が調和し、心身ともに健康な人間を育成する 2 高い専門性と国際的な視野を持ち、公益の心を持つ創造力豊かな人間を育成する 3 地域の産業や文化・環境を理解し、地域を大切に思う人間を育成する			重点目標	1 豊かな心と健やかな体の育成 2 社会を生きぬく基盤となる確かな力の育成 3 学校・家庭・地域との連携・協働による開かれた学校づくり
目指す学校像	1 普通教育と専門教育を併せ持つ、学際的な教育を展開する高校 2 特色ある教育活動を展開し、多様な進路希望を実現できる高校 3 公益活動、自然環境の保護、及び国際化に取り組む高校 4 地域と連携・交流し、地域社会の発展を担うリーダーを育成する高校 5 スポーツや文化の活動・発信の地域拠点としての役割を担う高校	育てる生徒像	1 豊かな心とたくましい体をもち、社会から信頼される人 2 公益の心と高い志を持ち、自己実現を図る人 3 高い専門性と実践力を身につけた、将来のスペシャリストとなる人 4 自分が育った地域を大切に思い、地域を支えていく人		

達成度	A・・・達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

自己評価(年間) ※数値目標・評価項目に関するアンケート結果「そう思う」「大体そう思う」の合計の平均						学校関係者評価		総括	
番号	評価項目	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び取り組み状況	数値目標	達成度(前年)	次年度に向けた改善策	達成度(前年)		意見・要望等
1	豊かな心と健やかな体の育成	①笑顔とやさしさ、挑戦する勇気を育む教育の推進 ②端正な装いと元気で明るい挨拶の推進 ③心身の健康やバランスを育てる特別活動の推進	○生徒会執行部が中心となり、正しい服装や身だしなみ、元気な挨拶の普及を積極的に推進し、落ち着いた学校生活を送った。 ○特別活動に意欲的に取り組み、生徒が心身ともに成長を遂げた。	85%以上	A(A)	○引き続き生徒会主導で挨拶運動を実施し、服装や身だしなみに対する意識向上を図る。 ○道徳教育をより深い、他者を思いやる心を育む環境を推進する。 ○外部講師による講座を実施し、専門知識や国際的視野を養い、生徒の自主性や挑戦の意識を高める。	A(A)	○生徒は明るく落ち着いた学校生活を送り、学習や特別活動を通じて成長している。 ○登下校時の自転車ヘルメット着用の指導を強化し、安全確保を推進してほしい。 ○生徒には失敗を恐れず挑戦する姿勢や、元気な挨拶の習慣を身につけてほしい。	
2	社会を生きぬく基盤となる確かな力の育成	①社会人基礎力を育てるキャリア教育の充実 ②基礎学力の定着に資する、授業改善及び評価 ③生徒の主体的な学びに資する、新たな授業方法の研究と実践	○地域企業と連携し、職場体験活動や企業見学を通じて、社会人基礎力を育成し、キャリア形成を促進 ○生成AIを活用した授業を展開し、生徒の主体性を効果的に引き出した。	85%以上	A(A)	○各学科の学びを発表・共有する場を設け、全校生徒が互いの経験や専門知識を深める機会を創出する。 ○生成AIの正しい活用方法を具体的に示し、生徒が主体的に学べる教材や活動を提供する。	A(A)	○ボランティアや職場体験を通じて、実践的な学びを深める取り組みは高く評価できる。 ○生成AIの活用を強化し、地域貢献や国際理解教育等へ発展させることで、多様な学びを深めることが期待できる。	
3	学校・家庭・地域との連携・協働による開かれた学校づくり	①互いに補完しあう情報共有と生徒支援体制の推進 ②地域を知り、貢献に資する教育活動の推進と学校を核とした地域づくり ③SNS等を活用した適時な情報発信	○さくら連絡網を活用し、保護者への迅速な情報伝達を実現。 ○災害ボランティア活動に参加し、地域貢献意識を高めた。 ○メディア発信を通じて、全校の取り組みや学科の特色を広く紹介。	85%以上	A(A)	○さくら連絡網を効果的に利用し、保護者と円滑な情報交換を行う。 ○地域イベントへの参加や専門家を招いた授業を通じ、地域への理解と連携を強化する。 ○SNS等を活用し、学校の魅力や活動内容を効果的に発信する。	A(A)	○保護者との円滑なコミュニケーションがとれる体制が整備されている点は評価できる。 ○地域にとって「頼れる高校」となっている。今後も帰属意識を醸成し、地元愛を育む取り組みを継続してほしい。	
自己評価及び学校関係者評価の改善点等		○生成AI活用やICT教育の推進、探究的な学びを通じ、主体的に学ぶ力を育む学習環境を実践する。 ○地域社会や保護者との連携を深め、学校の取り組みや成果を積極的に発信する。							○生徒が安心して相談できる環境を整え、進路や悩みに関わり添う支援を行います。個性や特性を理解し、適切な指導を通じて問題行動の未然防止や早期対応に努めます。教育相談や支援体制を充実させ、自己有用感を高める質の高い支援を提供します。 ○AIやICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現します。学習ツールの導入と丁寧な指導を両立し、生徒に寄り添った学習機会を充実させます。各教科で主体的・対話的で深い学びを推進し、授業改善や評価の一体化を図ります。さらに、校外研修を活用して教員の指導力を高め、より良い学びの場を提供します。 ○年次・学級のPTA活動に加え、専門部の事業や学校行事で保護者の支援を受けています。これらが生徒の成長や学校環境の充実に寄与し、保護者と教職員の交流の場となるよう、工夫と活性化を図ります。